

神戸市外大だより

vol.230

第14回全国大学生マーケティング・コンテスト(MCJ)決勝大会 報告

2025年12月13日（土曜）、大学生がマーケティングプランを英語で発表し競い合う「第14回全国大学生マーケティング・コンテスト（MCJ：Marketing Competition Japan）」の決勝大会を本学大ホールにて開催しました。

本学はこの大会を通して、参加学生の分析力、思考力、想像力、企画力、発信力、英語プレゼン力の向上を図るとともに、ビジネス課題解決に実践的に取り組むことによって社会への貢献を目指しています。

＼ 本学から出場した2チームが優勝と3位入賞！ ／



第14回を迎える今年の大会は、「リゾートクルーズ船「boh boh KOBE」の乗船者増加策～神戸を五感で楽しむ感動体験型クルーズで海の可能性を拓く～」をテーマに、参加チームを全国の大学から募り、予選には13大学31チームから応募がありました。書類と動画による予選を通過した神戸市外国語大学、兵庫県立大学、大阪公立大学、立命館アジア太平洋大学、中央大学、法政大学の6大学より8チームが決勝大会に出場しました。決勝大会当日は、各チームが今年のテーマ提供企業である早駒運輸株式会社が神戸港で運航するリゾートクルーズ船「boh boh KOBE」の乗船者数増加を図る大学生らしい斬新なプランを英語で堂々と発表。審査員からの鋭い質問にも真摯に応答し、白熱したプレゼンテーションが繰り広げられました。

▶▶ MCJ Official YouTube : <https://www.youtube.com/@mcjofficial1181>



Bouquet Quartette
左から
国際関係学科 4年
黒木 清志郎さん
元満 健太さん
鈴木 亜月さん
野上 秀馬さん



popcorn
左から
国際関係学科 2年
森川 ゆらさん
三宅 里奈さん
英米学科 2年
押川 恭子さん



3位

Q 優勝という形で大会を終えて感想はいかがですか？

A 去年出場した際は2位に終わり、凄く悔しい思いをしました。そこから「もう一度日本一をめざそう」と決意を新たに1年間勉強を続けてきたので、今回優勝することができて本当に嬉しいです。メンバーのおかげで優勝することができたので、感謝しかないです。メンバー全員が4年生なのですが、互いにパッションを受け取りながら、最後に良い思い出を作ることができ良かったです。

Q 大会準備を振り返って大変だったことは何ですか？

A 発表時間が15分と決まっている中で、伝えたい情報を取捨選択することが大変でした。「この人にこれを伝えたい」という私たちの想いが沢山ある中で、それらを時間内に詰め込むことがとても難しかったです。

Q 工夫したことは何ですか？

A 自分たちのアイディアだけではなく、スポンサー企業の早駒運輸さまの想いや神戸の文化などに焦点を当てて、実現可能性と聞き手側の想いを汲んだプランとなるよう意識しました。

Q MCJでの経験を今後どう活かしていきたいですか？

A メンバー全員が春から就職するのですが、MCJという大勢の方々の前で自分たちの想いを英語で伝える経験それ自体が私たちに自信を与えてくれました。就職してからの困難も「この大会で乗り越えたことと比べれば！」という気持ちで立ち向かえるのではないかと思います。

Q 今回の大会をふり返って、率直な感想は？

A 実際やってみて、英語力だけでなく、マーケティングについて深く学べたり、たくさん分析できたり、チームメイトとたくさんコミュニケーションが取れたりと、多くの学びがあったと思います。時間内に発表を終えることができなかつたことがとても悔しかったですが、全部伝えるのではなく、伝えたいことをしっかりと伝えることが大事だと気づきました。そしてこのチームメイトと、とことん追求したプランを堂々と発表できたという点に関してはすごく満足しています。

Q 大会準備を振り返って大変だったことは何ですか？

A 自分たちで考えたプランのどこが悪いかわからなくなった時に、批判的な目で捉えることがすごく難しいと感じましたが、Boh Boh Kobeの分析を緻密に行い乗り越えました。

Q 工夫したことは何ですか？

A メンバーとスケジュールを合わせるのが難しかったため、個人で進めながらも、なるべく連携をとりながらやることを大切にしていました。最後の一週間は特に忙しくて、他の予定も入れられないほどでしたが、そのぐらい本気でやったからこそ楽しかったです。

Q MCJでの経験を今後どう活かしていきたいですか？

A 今回の大会を通してマーケティングにさらに興味を持ち、分析することがとても楽しいと感じました。今回は授業で習ったマーケティングのノウハウを活かしてプランを作成しましたが、今後はもっと知識を深めて新しい視点も身に付けて、さらに魅力的なマーケティングプランを作成したいです。来年、再来年もぜひMCJに挑戦したいです。

CONTENTS

- ◆ 1. MCJ決勝大会開催報告
- ◆ 2. スカラシップ授賞式報告
- ◆ 3. 語劇祭開催報告・学生支援センターからのお知らせ
- ◆ 4. お仕事図鑑
- ◆ 5. 広報からのお知らせ／出版物紹介

留学奨学金制度

スティーブ山田スカラシップ・荻野スカラシップ

2025年 授賞式開催報告

12月17日（水曜）に本学で、2026年度スティーブ山田スカラシップ及び荻野スカラシップに決定した3名への授賞式を執り行いました。今年は、スティーブ山田氏、大学関係者、受賞者3名および帰国した2024年度受賞者2名が出席しました。授賞式では山田氏より激励のお言葉をいただき、田中學長より「派遣留学決定書」を授与した後、留学決定者が感謝の言葉と抱負を述べ、それぞれの留学への思いを新たにしました。

本学では、「広い国際的視野に立って活躍できる人材の育成」を教育方針として掲げ、学生・院生の海外留学を積極的に支援しています。

受賞者

スティーブ山田スカラシップ第2期派遣留学決定者・・・1名
荻野スカラシップ第13期派遣留学決定者・・・2名

受賞スカラシップ	学科・学年	渡航先	勉学計画
スティーブ山田 スカラシップ	英米学科2年生	イギリス	ビジネスを通じた途上国支援の可能性に関する研究
荻野スカラシップ	中国学科2年生	中国	中国語運用能力の向上と中国観点での国際関係の学び
	国際関係学科2年生	イギリス	国際法における条約解釈と翻訳の関係性に着目した、法と言語の相互作用についての研究

奨学金 概要

荻野スカラシップ

留学先大学の授業料相当額、準備金100万円（ただし、以上の合計は上限250万円とする）

スティーブ山田スカラシップ

留学先大学の授業料相当額、準備金150万円（ただし、以上の合計は上限350万円とする）

留学 期間

2026年1月～12月に留学を開始



授賞式写真（スティーブ山田氏：前列中央）

2025年10月25日(土曜)、26日(日曜)に、新開地アートひろばで第75回語劇祭を開催しました。今年度は「Grab your heart ~Stage Memorable Stories with you~」をテーマに、英米・第2部英米語劇団、ロシア語劇団、中国語劇団、イスパニア語劇団が、計4つの演目を行いました。お届けする舞台が記憶に深く刻まれて、今後ますます多くの方に「観劇したい、語劇に参加したい」と感じていただけるよう、演出・構成など工夫をこらした舞台で、熱演が繰り広げられました。

語劇祭 受賞者・受賞団一覧

- 最優秀劇団賞 英米・第2部英米語劇団
- 優秀劇団賞 中国語劇団
- 最優秀主演役者賞 ルーリー役：池上円花さん
(英米・第2部英米語劇団)
- 優秀主演役者賞 ルカス・メイエール役：山田紅葉さん
(イスパニア語劇団)
- 最優秀助演役者賞 レン役：川村真奈美さん
(英米・第2部英米語劇団)
- 優秀助演役者賞 チーナ役：佐々木陸磨さん
(イスパニア語劇団)
- 最優秀若葉賞 デイル役：浅沼咲陽さん
(英米・第2部英米語劇団)
- 優秀若葉賞 ドン・アンナ役：小林令依さん
(ロシア語劇団)
- 音響賞 英米・第2部英米語劇団
- 照明賞 英米・第2部英米語劇団
- 舞台美術賞 英米・第2部英米語劇団
- 衣装マイク賞 英米・第2部英米語劇団
- 字幕賞 英米・第2部英米語劇団
- 観客賞 英米・第2部英米語劇団
- ベストキャラクター賞
英米・第2部英米語劇団 レン役：川村真奈美さん
- ロシア語劇団 ドン・ファン役：大橋巧太郎さん
- 中国語劇団 程豊役：黒川空菜さん
- イスパニア語劇団 チーナ役：佐々木陸磨さん

最優秀劇団賞コメント：英米・第2部英米語劇団



このたび、最優秀劇団賞を賜り、誠にありがとうございます。直前まで慌ただしい日々が続きましたが、本番では劇団員一人ひとりが最良のパフォーマンスを発揮してくれました。また、今年は観客参加型という新しい試みをし、客席からの反応によって、作品はより豊かに息づくものとなりました。支えてくださったすべての協力者の皆さんに、心より感謝申し上げます。無事に語劇祭を終えることができ、本当にうれしく思います。引き続き、劇団の応援をよろしくお願ひいたします。

最優秀主演役者賞コメント：英米・第2部英米語劇団 池上円花さん(2年)

今年度の英米・第2部英米語劇団の演目である“5 Lesbians Eating a Quiche”は、5人のWidowsが登場し、役者全員が主役級に輝く作品でした。練習ではどうしたら観客の方々とリズム良く掛け合いができるのかと裏方と練習を重ね、本番で想像以上のレスポンスや拍手をいただけて本当に最高の公演になりました。この賞は劇団員全員、そして観客の皆さんと一緒にいただいたものです。本当にありがとうございました。



学生支援班からのお知らせ

2025年度 学位記授与式・卒業式
2026年3月25日（水曜）
10時30分～（受付開始：10時）

場所：本学大ホール
※ご同伴の方は、第2学舎で中継をご覧ください。

2025年度 卒業記念パーティ
2026年3月25日（水曜）14時～
（受付開始：13時30分）

場所：神戸西神オリエンタルホテル
神戸市西区糀谷5丁目6-3 TEL 078-992-8111
神戸市営地下鉄「西神中央」駅下車徒歩約1分
参加費：同窓会・伸興会加入の卒業生・修了生および
伸興会加入の保護者の方は無料
※卒業生・修了生の参加をお待ちしております。
伸興会加入の保護者の方も是非ご参加ください。

2026年度 伸興会総会
2026年4月6日（月曜）
11時頃～（入学式終了後）

場所：本学大ホール
※伸興会会員の皆様のご出席をお待ちしております。

お仕事

図鑑



名前 T.Mさん	
学科 英米学科	
卒業年月 2019年3月	
企業名 株式会社シマブンコーポレーション 調達部美術館室(BBプラザ美術館)	
入社年数 7年	
出身高校 京都市立紫野高等学校	



会社紹介

(株)シマブンコーポレーションは、鉄スクラップ(建物解体などで発生する鉄の廃材)を収集し、それらを国内外の製鋼メーカーに販売することを行っている神戸の企業です。一方でCSR活動にも注力しており、創業100周年となる2009年には、地域の芸術文化振興などを目的に「BBプラザ美術館」を本社ビルの2階部分に設けました。そのため、私の仕事場であるBBプラザ美術館はシマブンの部署のひとつという位置づけです。

■現在の仕事内容

美術館事務所で事務や広報を中心に担当しています。普段はアルバイト従業員の業務内容の管理・改善、各種広報媒体への連絡・調整、地域連携事業への対応(トライヤー・ウィークの依頼元となる学校との打ち合わせ)などデスクワークが中心ですが、時には受付スタッフとして現場に立ったり、展覧会準備の補助やイベントの対応に走り回ることもあります。小さな館ながら担当業務の幅は広く、そのどれもがやりがいにあふれるものです！

■社会人になって感じたこと

仕事は止めてはいけないもの、と改めて感じました。そのためには周りの人を頼ったり、上手に休んだりすることも必要です。私は社会人として「どうすれば滞りなく進められるか」を柔軟に考えられる人でありたいです！

■大学生活を振り返って

人に恵まれた5年間(留学期間1年含む)だったと思っています。所属していた室内楽団の仲間・厳しくも面白いゼミの先生・留学先でできた友達など、この大学にいたからこそ出会えた人が私の世界を広げてくれました！

■就職活動時の印象に残った出来事

憧れの業界の企業にことごとく落ちたのを機に、自分の人生とかつてないほど真剣に向き合う時間もつきました。自分が本当に歩みたい人生について考え抜くことで、想像もしなかった道が開けたのが印象的でした。

■外大生や受験生へメッセージをお願いします。

人生で起こることに無駄なものはありません。当時は失敗と思ったことや、やむを得ずとった行動が、巡り巡って想像もできない道を開いてくれることもあります。すべてを糧にする気持ちで、今を全力で生きてください！



館が主催するイベントの輪投げコーナーで、渾身のスローの数々を見守り中。



神戸を拠点に活動する美術家WAKKUNの個展(24年12月～25年2月)の準備風景。完成直後の作品を乾かしつつ、ご本人と一緒に展示方法について確認しています。

～ある日のスケジュール～

9:00 出社 収蔵庫点検①	収蔵庫(美術品などの保管に特化した専用の倉庫)の温度や湿度に異常がないか、毎日朝と夕方の2回必ず点検します。
9:45 美術館 開館準備	10時の開館に向けて、受付アルバイトの方と一緒に準備。開館待ちのお客様がいらっしゃることもあるので、手際よく！
10:30 図録 英文校正	美術翻訳家の方から納品された展覧会図録(展覧会内容などを解説した書籍)の英訳原稿を校正。日英バイリンガルの図録が主流になった今、外大出身者として腕が鳴る業務です！
12:00 ランチ	できる限りお弁当を持参しますが、ビル内外の飲食店に行ったりテイクアウト弁当を利用したりといろいろなパターンがあります。
14:00 メディアへ 原稿送付	事前に学芸員の方に作成依頼していた展覧会紹介などの原稿を、美術系の雑誌やWebサイトの編集担当の方へ連絡の上で送付します。メールの誤字脱字や送付先の取り違えが絶対にないよう気をつけて……。
15:00 社内講習 参加	美術館の母体企業の社員として、他部署の人と一緒に社員向けの講習を受講することもあります。主な内容は企業コンプライアンスや交通安全など。
16:45 閉館準備	17時の閉館に向けて、その日の売上金の集計やグッズの在庫確認を行います。鑑賞中のお客様が「急かされている」と感じることのないよう、準備はなるべく静かに。
17:00 閉館 収蔵庫点検②	閉館後の収蔵庫点検が終わったら速やかに施錠。
17:30 売上金処理	定時はこの時間ですが、やむを得ず残業することもあります。特にお金に直接かかわる業務は慎重に行い、万が一トラブルが起こったら必ずその日中に解決するようにします。
18:30 退社	帰宅後は家族や友達と連絡を取りたり、YouTubeで大好きな猫の動画を見たりして1日の疲れを癒します。笑



魅力発信事業2025開催報告

○6月16日(月曜) 講演会「紛争地域における人命救助の最前線—ガザの真実を知る」

国連パレスチナ難民救済事業機関 保健局長 清田明宏医師を講師に迎え、紛争地域における人命救助の最前線から、UNRWAの活動やガザの現状と未来について講演

○10月1日（水曜）、10月6日（月曜）、10月14日（火曜）、10月21日（火曜）

特別セミナー「神戸新長田×ダンスボックス×外大」（全4回）

コンテンポラリーダンスを中心に地域と協働した活動を行うNPO法人ダンスボックスによる特別セミナー

○10月10日（金曜）講演会「絵をことばに、ことばを絵に」

翻訳家の柴田元幸氏と、本学の客員教授である絵本作家のきたむらさとし氏による講演会

○6月7日（土曜）、6月28日（土曜）、7月5日（土曜）、9月20日（土曜）、10月11日（土曜）、

11月8日（土曜）、12/6（土曜）、1月24日（土曜）「CITIZENS CHAT CAFE」（全8回）

地域住民が本学の留学生や在学生と楽しく英会話をを行う国際交流イベント

○11月7日（金曜）、12月5日（金曜）、1月9日（金曜）

講演会「言葉で珈琲を味わう～神戸の過去と現在をむすぶ珈琲～」（全3回）

神戸を代表する地場産業のひとつとなっている「珈琲」をテーマに、言語学と珈琲を専門とする本学教授と、珈琲・神戸に縁のある登壇者による講演会

<StudyInネイティブ英会話×神戸市外大>コラボイベント ～あれ？語学って楽しい！～

11月22日（土曜）本学大ホールにて、英語教育系SNSで総フォロワー数250万人を誇る「StudyInネイティブ英会話」と外大生のスペシャルコラボトークイベントを開催。英語学習や海外留学に関する情報を日々発信するStudyInネイティブ英会話と、様々な国際交流経験を持つ神戸市外大の在学生が、「あれ？語学って楽しい！」をテーマにトークセッションを行いました。



本学教員の出版物

教員名：山本 昭宏（総合文化グループ准教授）

書 名：河内と船場

出版社：ミネルヴァ書房

出版年：2025年3月

種 別：単著

教員名：竹越 孝（中国学科教授）

書 名：唐宋漢語文献目録 上・下巻

出版社：デザインエッグ社

出版年：2025年4月

種 別：共著

教員名：川 浩二（中国学科准教授）

書 名：食からみる台湾史：料理、食材から調味料まで

出版社：原書房

出版年：2025年4月

種 別：単訳

教員名：木場 紗綾（国際関係学科准教授）

書 名：猛威を振るうストロングマン：ガバナンス改革と権威主義の再興隆

出版社：明石書店

出版年：2025年4月

種 別：共著

教員名：山口 征孝（国際関係学科教授）

書 名：Experiencing Digital Discourses: Multimodality, Engagement, Activism

出版社：Palgrave Macmillan

出版年：2025年5月

種 別：共著

教員名：松田 裕美（国際関係学科准教授）

書 名：国連と秩序構想

出版社：国際書院

出版年：2025年6月

種 別：共著

教員名：並河 葉子（総合文化グループ教授）

書 名：Women and educational reform in history:
Japan in a transnational world

出版社：Routledge

出版年：2025年6月

種 別：共著

教員名：竹越 孝（中国学科教授）

書 名：基于朝鲜和满汉资料的近代汉语研究

出版社：北京大学出版社

出版年：2025年7月

種 別：单著

教員名：本多 啓（英米学科教授）

書 名：日英語の可能表現の本質：アフォーダンスと原因帰属から見た英語中間構文と日本語無標識可能表現

出版社：ひつじ書房

出版年：2025年10月

種 別：单著

教員名：安喰 勇平（総合文化グループ准教授）

書 名：わたしの学術書 2：博士論文書籍化をめぐって

出版社：春風社

出版年：2025年10月

種 別：共著

